

しらびそ山の会へ入会の動機となった憧れの赤岳天狗尾根。街から眺めてもゴジラの背中のようにゴツゴツしていかっこいい。装備を整え、ロープワークを学び、踏破することができた。

早朝4時30分テントを張っている人もいるスペースに余裕のある美し森駐車場をスタート。出合小屋までの長いアプローチを進む。前半は歩きやすい林道。河原へ出てからは、右岸、左岸と渡渉を繰り返しルートを見極めながら堰堤を越えていく。

出合小屋で小休止。ここでヘルメットを装着し、赤岳沢へ。そして、沢から離れ、尾根までの急な坂を登りきるとそこはついに天狗尾根。さあ、ここからが本番。

カニのハサミ手前でハーネスを装着。ハサミの間を目指してロープを出して登攀。初めて二人での登攀となるため、ロープの扱いやコールについて指導いただく。谷内さんにリードしていただき、セカンドで登る。登り自体はホールドがしっかりしており、問題はない。あっという間に登り切り、ハサミの間へ。

次の岩峰は右ヘトラバースからの草付きルンゼ登り。ここも同様にロープを使っての登攀。ここでは、ルートがL字に曲がっているため、終了点が見えない。コールが聞こえない場合の対応を指導いただくが、声が聞こえ問題なし。

しばらく歩き、ついに大天狗登場。ここは、右側のバンドルートヘトラバース。本日3度目のロープの使用で、扱いに少し慣れてきた。ここも登攀自体の難易度は問題なく良いロープワーク訓練になった。

大天狗-小天狗の鞍部で大休止。ハーネスを外す。このルート岩稜帯に高山植物が豊富。一目で10種類ほどの花が見える。（名前が覚えられず残念）

稜線まで登り切り、キレット小屋、ツルネと歩く。ツルネにはコマクサがきれいに咲いている。（これは分かる）小休止し、ツルネ東稜を下る。ノンストップで本沢-権現沢分岐まで下り、出合小屋へ。長い河原、林道歩きを経て美し森へ無事帰着。

憧れの天狗尾根。実際に登ると遠くからの見かけほど困難なルートではないことが分かった。しかし、宿題が残ったので、次は大天狗の直登ルートへ望みたい。（小天狗も登りたい）また、リードで登れるように訓練していきたい。

<コースタイム>

04:30	美し森駐車場
06:20	出合小屋
08:10	カニのハサミ
09:40	大天狗-小天狗鞍部
10:00	縦走路分岐
11:00	ツルネ
12:10	出合小屋
13:45	美し森駐車場



